

物品購入仮契約書

- 1 契約番号 2020001129
- 2 物 品 名 消防団第7分団第2部用消防ポンプ自動車（CD-I型）
- 3 詳 細 物品明細表のとおり
- 4 契約金額 金 20,130,000 円
うち取引に係る消費税及び地方消費税の額 金 1,830,000 円
- 5 契約保証金 免 除
- 6 納入場所 別紙仕様書のとおり
- 7 納 期 令和 3年 2月 22日

上記の物品購入について、発注者入間市と受注者ジーエムいちほら工業株式会社東京営業所は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の入間市物品購入契約約款によって公正な物品購入契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

なお、この契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年条例第10号）第3条の規定による市議会の議決を経たときは、議決の日から本契約としての効力を有することとし、この仮契約書を本契約書とみなす。

この契約の証として、本書2通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自1通を保有する。

仮契約日 令和 2年 6月 11日

本契約日 令和 年 月 日

住 所 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号

発注者 入間市

氏 名 代表者 市長 田 中 龍 夫

住 所 東京都台東区浅草橋5-4-2 横山ビル

受注者 商 号 ジーエムいちほら工業株式会社 東京営業所

氏 名 所長 真館 知誉

見 積 結 果 一 覧 表

令和 2 年 6 月 4 日 11:45 開封

1 物 品 名 消防団第 7 分団第 2 部用消防ポンプ自動車 (CD-I 型)

2 納 品 場 所 入間市役所「防災センター」

3 予 定 価 格 (税込) ¥20,317,000

4 見 積 書 比 較 価 格 (税抜) ¥18,470,000

5 最 低 制 限 価 格 (税抜) なし

No.	見 積 高	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回	決 定 高	業 者 名	摘 要
1	19,700,000						小川ポンプ工業株式会社 東京事務所	
2	20,053,500						関東いすゞ自動車株式会社 川越支店	
3	18,680,000						埼玉消防機械株式会社	
4	18,300,000					20,130,000	ジーエムいちほら工業株式会社 東京営業所	決 定
5	19,100,000						東京日野自動車株式会社 新狭山支店	
6	19,800,000						長野ポンプ株式会社 東京営業所	
7	19,250,000						株式会社ナカムラ消防化学 東京営業所	
8	19,000,000						日本機械工業株式会社 本社営業部	
9	20,650,000						日本消防サービズ株式会社	
10	19,300,000						株式会社野口ポンプ製作所	
11	18,520,000						株式会社モリタ 東京支店	
12							以下余白	

※決定高については、消費税及び地方消費税の額 (¥1,830,000) を含む。

令和2年度

入間市消防団第7分団第2部
消防ポンプ自動車（CD-I型）

仕様書

入間市

消防ポンプ自動車CD-I型仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、入間市（以下「当市」という。）が令和2年度CD-I型消防ポンプ自動車（以下「車両」という。）を製作するにあたり、使用するシャーシ、主ポンプ及び本体艤装に関する仕様について定める。
- 2 車両の規格は、国で示す「動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令」及び「消防防災設備整備補助金交付要綱」に規定する規格に適合するものであること。
- 3 車両は、道路運送車両法及び道路運送車両の保安基準に適合し、緊急自動車として承認が得られるものであること。
- 4 車体は、常時登録された車両総重量の状態において十分耐え得るものであること。
- 5 艤装材料は、日本工業規格に基づいて精選された強度及び耐久性を有するものを使用すること。
- 6 製作にあたり日本仕様書に質疑が生じた場合は当市と協議し内容について承認を得ること。
- 7 本契約にあたっては、この仕様書を了承し疑義が生じたときは当市に質問し十分熟知のうえ契約するものとし、契約後において生じた一切の疑義はすべて当市の解釈に従うものとする。
- 8 受注者は当市と艤装に関し協議を行い、その結果に基づき書類を作成して当市に提出し承認を得ること。
- 9 完成車の納車までの経費は、すべて受注者が負担するものとする。ただし、新規登録費用・自動車損害賠償保険・自動車重量税・リサイクル料金・廃車に関する費用については発注者が負担するものとする。
- 10 保証期間は、完成車納入後1年間とすること。ただし、保証期間が過ぎても設計不良、製作不良等に起因する故障が発生した場合は、無償にて部品の交換または修理を行うこと。
- 11 車両の更新に際し、廃車する車両がある場合は、廃車手続き（一時抹消登録又は永久抹消登録）について受注者に委任し、廃車車両について処分経過及び収支報告を行うとともに、これに係る領収書又は見積書を添付すること。
なお、廃車手続きに係る費用は受注者の負担とする。

第2 提出書類及び検査

1 受注者は、契約後速やかに次の書類を提出し当市の承認を得ること。

- (1) 製作承認図 (5面・装備品取付図) 2部
- (2) 製作工程表 2部
- (3) その他発注者が希望する書類

2 受注者は、納入に際して発注者に次の書類を提出すること。

- (1) 機装外観図 (5面図) 2部
- (2) 車両取扱説明書 2部
- (3) ポンプ取扱説明書 2部
- (4) ポンプ検査合格証及び成績書 1部
- (5) 電気配線 (機装配線) 2部
- (6) その他発注者が希望する書類

3 受注者は、製作工程及び納車時に次の検査を受けること。又、検査の結果、当市が不都合と認めた箇所及び資機材について直ちに修復または交換の上再検査を受けること。

- (1) 受注者は、製作がほぼ完成に近い塗装前の状態で本仕様書に基づき車両の中間検査を受けること。この場合に於いて、受注者は検査予定日の20日前までに検査申請書を当市に提出するものとする。
- (2) 受注者は、中間検査時に社内検査票を提示すること。
- (3) 受注者は、納入時仕様書に基づき検収 (機装、積載品、付属品及び放水機能の検査) を受けること。
- (4) 受注者は、納入に至るまでの検査、改修、故障及び修理に要した費用を負担すること。
- (5) 上記のほか、製作中において確認又は、検査を実施することがある。

第3 シャーシ

使用シャーシは、仕様書に適合するシャーシとし別紙1によるものを使用すること。

第4 臓器関係

1 主ポンプ及び真空ポンプ

(1) ポンプ

ポンプ型式	一段ポリユート式水ポンプ又は 高圧二段バランスタービンポンプ
	A-2級以上
ポンプ性能	送水圧力 0.85MPa において放水量 2,000L/min 以上
	送水圧力 (高圧) 1.40MPa において放水量 1,400L/min 以上

- (2) ポンプは、シャーシ・エンジンのPTO (パワーテイクオフ) により駆動され、PTOの操作は運転席に設けられたスイッチ又はレバーにより行うものとする。このPTOは、シフトがPレンジでサイドブレーキ作動時のみ作動するものとする。
- (3) ポンプグランドパッドは、メンテナンス性を考慮してメカニカルシール構造またはグランドパッドパッキン構造とすること。
- (4) インペラーは、高所からの吸水に対し性能の低下及びキャビテーションを防止し高度のバランスを保持する設計とすること。
- (5) ポンプシャフトは、ステンレス鋼棒等で精密な研磨仕上げを施すこと。
- (6) 主ポンプは、あらゆる回転状態、吸水状態、落水状態、落差の状態、放水量及び圧力の状態においても、振動、発熱、異常音、漏水のない構造とすること。
- (7) 真空ポンプは、ピストンを左右に動かし吸排気バルブにより空気を排出するピストン式真空ポンプ、またはその駆動を電磁クラッチ等介して行う偏心ロータリー式とし、注油装置を必要としない完全オイルレス構造とすること。

(8) 真空ポンプの性能は、付属吸管 1 本を連結して末端閉塞状態で起動して 30 秒以内に試験時の大気圧の 84% に達する負圧を作成し、その状態で 30 秒間に 10mm/hg 以下の漏気であること。

(9) 極く少量の不凍液を吸入させて主ポンプ、真空ポンプ等主要部の凍結を防止する構造とすること。

2 安全機能装置付ポンプ操作装置

ポンプ操作装置は操作員が容易かつ安全にポンプ操作が行えるよう、次の機能を有するものとすること。

(1) 圧力計・連成計（リタード式）は電子式（透過光照明灯・ゲージ部作動確認ランプ付）又は同等品とし、振動等でも針振れがない構造とすること。

(2) ポンプスロットルは電子式スロットル又は同等品とし、スロットルの作動状態については左右ポンプ操作装置の中央に設けた多目的表示液晶ディスプレイに表示するもの又は同等品とすること。

(3) 多目的表示ディスプレイは次の 3 種類以上が表示できるものとし、これに対応できない場合は、別表示とすることができるが、操作員が容易に操作できる配置とすること。

取扱表示	機器取扱・点検整備・故障対策等の文書表示
モニタ表示	1 冷却水及び真空ポンプ作動タイムに対する警告表示 2 各ボールコックの開閉状況 3 揚水、放水の状況表示・ポンプ圧力計・ポンプ連成計・流量計（左右に各 1）・積算流量計・ポンプ回転計
流水表示	1 各ボールコックの開閉状況 2 ポンプの運転状況及び放水時における水の流れる状況を表示

(4) ディスプレイ内の各表示切換は手袋等をした状態でも確実に作動できるように押しボタン式により行えるもの又は同等品以上とすること。

また、ディスプレイの大きさは、隊員の視認性を考慮し 7 インチ以上とし、夜間でも見やすい自動調光機能付きとすること。

(5) 非常時における真空ポンプ及びスロットル操作はボディー右に設けられた別回路の手動操作装置にて行えるものとする。

(6) ポンプ操作装置には隊員の安全を確保するため、スロットル固定機能を設け、不用意にスロットルに触れてもエンジン回転の上昇を防ぐ

ようスロットル固定機能を備えること。

ただし、固定した場合でも安全方向（スロットルダウン）には操作できるものとする。

(7) 災害時の揚水時間短縮の為、空気抜き弁（同機能品）を設けること。又整備性を考慮し作動スイッチ（切替バルブ等）を設ける。

2 吸水口及び放水口

(1) 吸水口の内径は、100 mmとしポンプ部両側に各1個ずつ75 mmボールコックを取り付けて（エルボ金具付）エゼクターバルブにより連続吸水が可能な構造とすること。

(2) 放水口の内径は、65 mmとしポンプ部両側に各2個ずつ65 mmボールコックを取り付け高圧力下に於いても容易に開閉操作が行える構造とすること。

(3) 中継吸水口は、ポンプ部両側に各1個ずつ設け65 mmボールコック、ストレーナーを取り付け先端に町野式メス金具を取り付けること。

(4) 後部両側面の吸水管固定金具の三箇所のうち最上部は、開いている時に止め金具が頭や顔に当たらないよう安全性に考慮し飛出し防止金具部分を180度開きのワンタッチ下蝶番式とする。

(5) 主ポンプドレンはPTOに連動させ、吸水コック及び中継コック等のドレンは可能な限り配管を集中させドレンコック数を少なくして乗降等の支障にならない位置に設けること。

3 計器

(1) 圧力計及びリタード式連成計は、放水口コック上部左右両側に取り付けること。

(2) 回転計・油温計は、キャビン内の見易い位置に取り付けること。

4 警光装置

(1) 赤色回転灯は、大型散光式としキャビン前方上部に取り付けること。

(2) フロント上部左右に点滅式赤色灯を設けること。

5 警音装置等

(1) 電動サイレンは、大型散光式警光灯内蔵型とし、操作スイッチは、手元スイッチとホーン切り換え式の両用とすること。

(2) 電子サイレン（マイク・警鐘音付・赤色警光灯連動型）のスピーカーは大型散光式警光灯内蔵型とすること。

(3) 電子サイレン用アンプは音声合成機能付きとし広報活動ができること。

(4) 警音装置等の各操作部はオーバーヘッドコンソール内に取り付けること。

6 照明装置

- (1) 照明灯（サーチライト、手元スイッチ付）は、車体中央部右側及び、車体後部左側に取り付け手元スイッチは保護枠付きとし車体側に取
り付けること。
 - (2) 足元照明灯は計器灯連動としサイドステップ及び最後部座席の下部に取り付けること。
 - (3) ポンプ室内及びエンジン室内に照明灯を設けること。
 - (4) ポンプ両側の操作部に大型蛍光灯式照明灯を設けること。
 - (5) 運転席のオーバーヘッドコンソールに別図1の照明（スモールランプと連動）付スイッチパネルを設け各種スイッチを集中する構造とす
る。
 - (6) 各収納箱に扉の開閉と連動するLED照明灯を設けること。
 - (7) 標識灯は、回転灯に取り付けること。
 - (8) 助手席（ピラーコイル型）及び後部座席に手元灯（LED式）を設けること。
 - (9) 室内灯はシャーシ標準とすること。
 - (10) LED式路肩灯は、左右の後輪前部に取り付けること。（スモールランプと連動）
- ## 7 キャビン及び車体臓装
- (1) キャビンは、鋼板製全有蓋密閉式構造とすること。
 - (2) 前部座席、後部座席共シャーシ付標準仕様とすること。（内高1m以上）
 - (3) ステップ類は、アルミ縞網板とし、端部周辺を折り曲げる構造とすること。
 - (4) 車両周囲各乗降場所にはキックプレートを設けること。
 - (5) キャビン内上部の内張りはパネル式として取り外し可能な構造とし、各装置の配線点検が容易に行える構造とすること。
 - (6) バッテリーメイススイッチは、運転席付近に取り付けること。
 - (7) 車両後部両側面に把手を取り付けること。
 - (8) キャビン上部はアルミ縞鋼板張りとすること。
 - (9) 燃料タンクは、後部ドア下部右側に設け適切な位置に給油口（鍵付）を設けること。
 - (10) 後部ドア下部右側の燃料タンク付近に飾り板を設けること。
 - (11) 後部ドア下部両側にサイドステップを設けること。

- (12) ステンレス製ナンバースタンプ用リアナンバープレートは、車体後部左側に設けること。
 - (13) 車体上部周辺に手すりパイプを設けること。
 - (14) 車両後部上面は全面アルミ編鋼板張りとして、ポンプ整備点検をするための防水式扉を設けること。
 - (15) 車体の後部構造は、鋼板で箱型（全高を低く）に組み上部周辺は溝型にプレスし下部は、山型網で車体を緊着し上縁には、手すりパイプを設けること。
 - (16) 両側リアフェンダーは、丸型とし上面はアルミ編鋼板張りとする。
 - (17) 車体後部右側へ加納式ホースカー（管轄・継介付）を取り付け、ロック確認灯を設けること。
- 8 ボックス類
- (1) 各収納箱の扉は、ストッパー等を設け開放位置で止まるものとし扉の開閉に連動する照明を設けること。
 - (2) 車両放水口上部の両側面に、上開きシャッター式の貫通収納ボックスを設け床面は可能な限り大きな点検用扉を設け、エンジンカッター・チェーンソー等を固定できること。
 - (3) ホースカーの前に上開きシャッターの2段式収納箱を設け、引き出せる構造とし発電機、左側にコードリール、三脚、投光器等を固定収納できること。
 - (4) 車両放水口下部の左右に下開き扉を設けること。
 - (5) 後部ドア下部左側に引き出し式バッテリー収納ボックスを設けること。
 - (6) 運転席・助手席シート後部に可能な限り最大限の物入れを設けること。（別図2）
 - (7) 後部座席下に、収納ボックスを設けること。
- 9 取り付け品及び取り付け装置
- (1) 2連梯子は、車体右側面に取り付けること。
 - (2) アルミ製管轄2本は、車体後部両側に保護板を付け取り付けること。
 - (3) 運転席の後部に手すりパイプを設け、物掛け金具を10個取り付けること。
 - (4) 後部座席ヘッドレストス上部5ヶ所にヘルメット掛けを取り付けること。
 - (5) キャビン又は収納ボックス内に反射式合図灯及び携行灯を取り付ける金具を設けること。
 - (6) 車輪止めは、右側吸水管巻内に2個取り付けること。（ゴム製）
 - (7) 消火栓開閉金具T型は、右側吸水管巻内に取り付け、消火栓開閉金具十字型は左側吸水管巻下に取り付けること。

- (8) 金てこは、右側吸管巻下に取り付け、吸管スパナは、両側吸管巻内に取り付けること。
- (9) 替えノズル立て2個は、右側ステップ上に取り付けること。
- (10) 大箱廻しは、後部ステップ上に取り付けること。
- (11) 剣先スコップ、オノ、掛矢、スタンドパイプは、車両後部上面に取り付けること。
- (12) 消火器は、左側吸管巻内に取り付けること。(車両用ABC粉末20型)
- (13) とび口2本は、車体左側上部に取り付けること。(緩衝ゴム付挟み固定式) 尚訓練対応用に取り付けステーを移動出来るように側面にネジ穴を設けること 詳細当市打合せ
- (14) 車体中央部左側に旗立パイプ(固定ネジ付)を設けること。
- (15) 消防団章をフロント中央に取り付けること。
- (16) 受令器1台(スピーカー含む)を前席のオーバーヘッドコンソール内中央に取付けること。
- (17) 両側ポンプ操作部に埋め込み式の入切スイッチ付受令器用外部スピーカーを取付けること。(車内・外の切替えスイッチとする)
- (18) 受令器用アンテナは、キャビン上部中央に取り付け貫通部は、雨水等の漏れを防止した構造であること。
- (19) 全自動電子バッテリー管理器を車両へ搭載し、ポンプ操作部に車体外部電源ソケット(マグネット式)を取付けること。
- (20) 簡易救助工具セット及び把手伸縮式担架を車両上部ボックスに収納すること。

(ボックスについて別途協議)

10 塗装

- (1) 外面塗装は、消防レッドとし完全な防錆加工を施し研き出し仕上げにすること。
- (2) 記入文字等は次のとおりとすること。
 - ① キャビン両側面(前後ドアーに渡り)に「入間市消防団」と丸ゴシック体約12cm角の大きさの白文字で左方向からバランス良く記入すること。
 - ② キャビン上面に「7-2」と丸ゴシック体約60cm角の大きさの黒文字で左方向からバランス良く記入すること。
 - ③ フロントガラス助手席側下に「西武7-2」と丸ゴシック体約8cm角の大きさの白文字で左方向からバランス良く記入すること。
 - ④ 車両後部に「西武7-2」と丸ゴシック体約8cm角の大きさの白文字で左方向からバランス良く記入すること。
 - ⑤ 左右後部ドアー後方下部に「西武7-2」と丸ゴシック体約8cm角の大きさの白文字で左方向からバランス良く記入すること。

- ⑥ 標識灯は、黄色地に丸ゴシック体、黒文字で「7-2」と記入すること。
- ⑦ ホースカバーに丸ゴシック体約8cm角の大きさの白文字で「西武7-2」と記入すること。
- ⑧ 車両側、後面に、市イメージマーク・分団イメージマーク（別途指示）及び指定文字（防衛補助を含む）を記入すること。

第5 納期

令和3年2月22日

第6 納入場所

入間市役所「防災センター」

消防ポンプ自動車CD-I型シャーシ仕様

- 1 使用シャーシは、国産自動車メーカー製CD-I型消防車専用シャーシとし、常時登録された総重量の状態において十分耐え得るものであり、最新の排出規制適合車であること。
- 2 シャーシの主要諸元
 - (1) 全長 5,000 mm ～ 5,550 mm
 - (2) 全幅 1,900 mm以下
 - (3) 全高 2,500 mm以下
 - (4) ホイールベース 2,000 mm ～ 2,530 mm未満
 - (5) エンジン デューゼルエンジン 74kw (100 p s) 以上
 - (6) 乗車定員 6名以上
 - (7) タイヤ種類 スタッドレスタイヤ (特に高耐久・高速走行性能考慮する)
 - (8) 駆動方式 2輪駆動
 - (9) ステアリング パワーステアリング
 - (10) トランスミッション A/T
 - (11) バッテリー 24V - 100A以上
- 3 標準取付け装備
 - (1) エンジン回転計を設けること。
 - (2) エンジン油温計を設けること。
 - (3) 切り替え音声後退警報ブザーを設けること。
 - (4) 計器類及び電装品は標準装備とすること。
 - (5) 全輪に泥よけカバーを取り付けること。
 - (6) 燃料タンク容量は、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令で定める規格放水性能において2時間以上使用できるものであること。

- (7) エアコンディショナーを取り付けること。
 - (8) オイルパンヒーターを設けメタルコンセント取付けること。(コード9m付)
 - (9) AM, FM対応型ラジオを取り付けること。
 - (10) 各ドアにサイドバイザーを取付けること。
 - (11) 各ドアのロックは、集中式とすること。
- 4 標準付属品 (シャシー付属品)
- (1) スペアタイヤを備えること。
 - (2) 反射警告板及び停止表示板を備えること。
 - (3) 規定工具一式を備えること。
 - (4) ブースターケーブルを備えること。
 - (5) メッキ製ホイールキャップを取付けること。
 - (6) 全席にフロアマットを備えること

1 取り付け品及び取り付け装置

No.	品名	数量	備考
1	ポンプ圧力計	2	左右ポンプ操作部
2	ポンプ連成計	2	左右ポンプ操作部 (リタード式)
3	エンジン回転計	1	キャビン内 (シャシー付属品)
4	エンジン油温計	1	キャビン内 (シャシー付属品)
5	赤色回転灯	1	大型散光式 大阪サイレン WP-M-VAL-M ウィング形状
6	電子サイレン	1	大型散光式スピーカー内蔵型 (音声合成機能付き)
7	照明灯	2	ハロゲン 70W
8	後退警報器	1	キャビン内 (シャシー付属品)
9	標識灯	1	「7-2」大型散光式に取り付け

2 軽微な変更として備えることのできる取付品及び取付装置

No.	品名	数量	備考
1	電動サイレン	1	5型(大型散光式内蔵型)
2	オイルパンヒーター	1	(シャーシ付属品)
3	不凍液注入装置	1	

3 積載品及び付属品

No.	品名	数量	備考
1	吸管	2	呼称75mm×10m(NEWライフレックスLF-18)
2	吸口ストレーナー	2	
3	吸管ストレーナー	3	
4	吸管ちりよけ籠	2	籐製(プラスチック製可)
5	吸管枕木	2	ワンタッチバンド付
6	吸管ロープ	2	10mm×15m白色
7	消火栓金具	1	75mmメスネジ×65mm差込メス
8	中継用媒介金具	2	65mmメスネジ×65mm差込メス
9	消火栓開閉金具	5	大箱廻し1・消火栓鍵2・防火水槽用鍵2
10	吸管スパナ	2	
11	管そう	2	プロモデル
12	ノズル	4	可変噴霧ノズル(NEO-21)×2 スムース23・26mm
13	放口媒介金具	2	65mmメスネジ×65mm差込オス
14	放口媒介金具(自在)	2	65mmメスネジ×65mm差込オス
15	トビロ	2	
16	媒介金具	2	オスオス、メスメス

No.	品名	数量	備考
17	金てこ	1	
18	剣先スコップ	1	
19	はしご	1	2連アルミ製 (3.6m)
20	車輪止め	2	ゴム製
21	ポンプ工具	1	
23	ホース	20	町野式呼称 65 mm (軽量) 使用圧 1.3 MPa

4 軽微な変更として備えることができる付属品

No.	品名	数量	備考
1	タイヤチェーン	1	金属梯子型シングル (シャーン付属品)
2	ホースブリッジ	2	スパーブリッジ L460 同等品可
3	照明器具	1	投光器 (G-300)・三脚 (K-1)・コードリール発電機ホンダ EU9 i
4	おの	1	
5	掛矢	1	
6	ホースカバー	1	オレンジ色・入間市消防団 7-2
7	スタンドパイプ	1	PS-65 長さ 715 mm

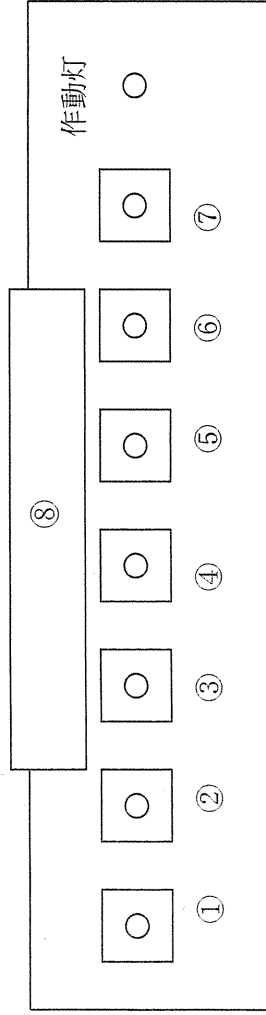
5 積載品及び付属品

No.	品名	数量	備考
1	手元灯	2	スポット型
2	受令器・無線機	1	デジタル簡易無線機 (アンテナスピーカー含む) 既存品
3	CD デッキ	1	エンドレステープ対応型
No.	品名	数量	備考

4	バッテリーメインスイッチ	1	
5	消防団章	1	
6	赤色点滅灯	2	
7	路肩灯	2	
8	全自動電子バッテリー管理器	1	ずばら充電器 24V用 同等品可
9	簡易救助工具セット	1	レスキュー11 同等品可
10	把手伸縮式担架	1	
11	チェーンソー	1	有効切断長 350～365 mm程度
12	エンジンカッター	1	ハスクバーナー K650ACTIVE II 同等品可
13	加納式ホースカー	1	TS-120 同等品可
14	水中ポンプ (排水ホース含む)	1	100V50MHz 揚水性能 150 (ℓ/分) 程度
※ 備考の製品型番等の製造中止品の場合は同性能を有するものとする。			

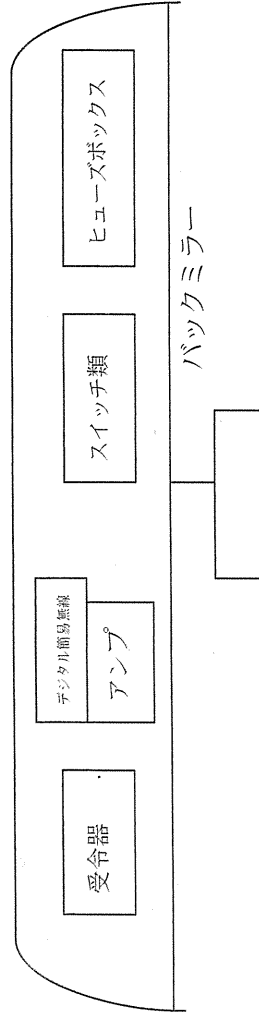
スイッチボックスパネル図 (オーバーヘッドコンソール内) とする。

(助手席側) (運転席側)



- ①モーターサイレンスイッチ
- ②サイレン・ホーン切替スイッチ
- ③スピーカー屋内・屋外切替スイッチ
- ④計器盤・ポンプ室照明
- ⑤標識灯
- ⑥パネル照明ランプ
- ⑦予備スイッチ
- ⑧スイッチパネルの照明灯

オーバーヘッドコンソール内配置図

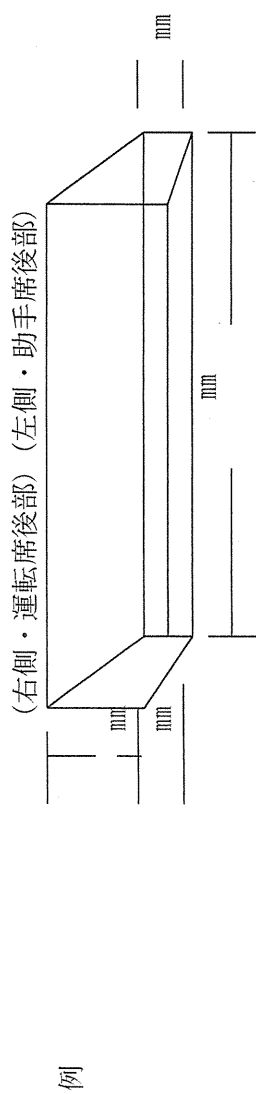


(注意事項)

- ア. パネル照明ランプは、有効なものをつける。
- イ. スイッチの統合は、機能別に行うこと。
- ウ. 細部については、当市と更に協議すること。

別図2

運転席・助手席後部収納箱（物入れ箱・保護枠付）
寸法にあっては車種による使用可能な最大限数値



(強カライトを2本以上積載できる寸法を考慮)

(注意事項) 細部については、当市と更に協議すること。